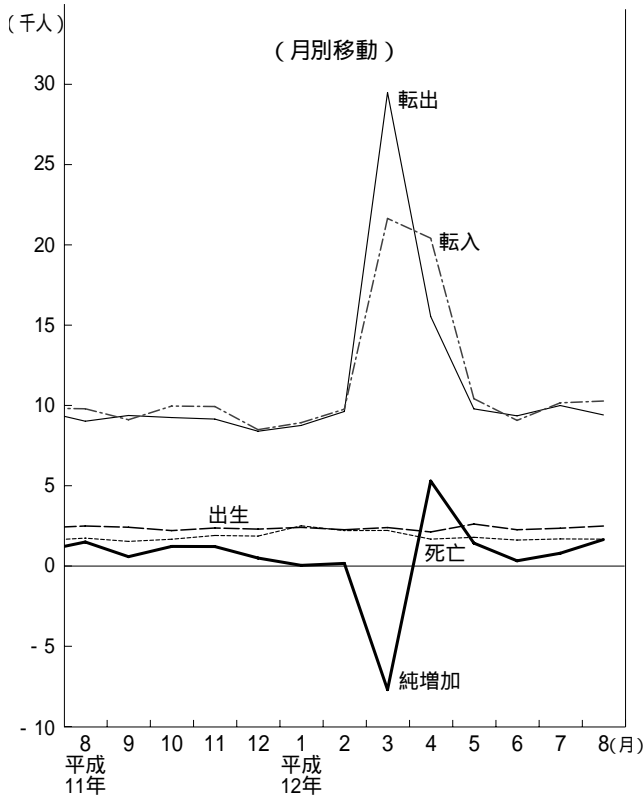


今月の主な動き

人口



人口（12年9月1日）

8月の概況

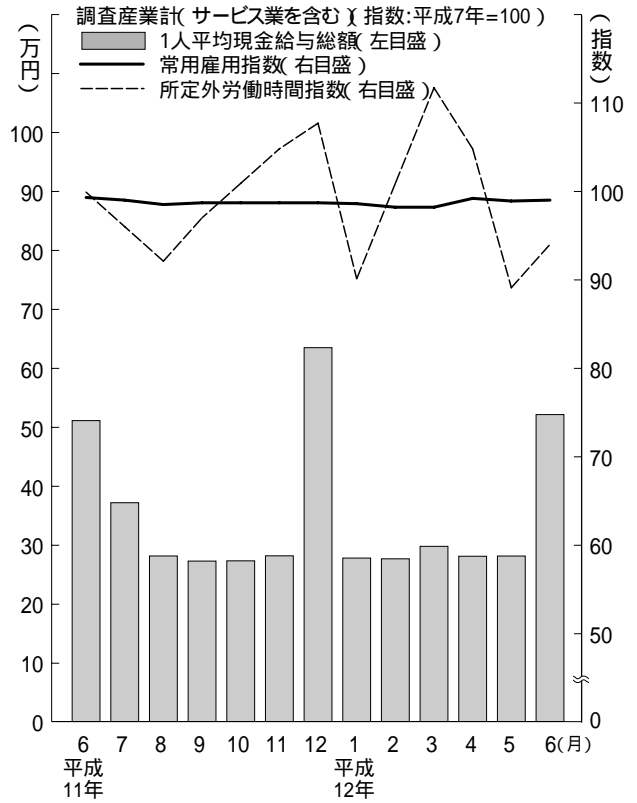
本県の人口は、8月中に1,683人増加し、9月1日現在で3,004,266人（男1,498,902人、女1,505,364人）となった。

内訳は、自然動態で、817人（出生2,525人、死亡1,708人）増加し、社会動態で、866人（転入10,310人、転出9,444人）増加した。前年同月と比べると5,915人（0.2%）の増加である。

市町村別では、増加が16市33町村、減少が4市31町村、増減なしが1村である。

世帯数についても8月中に1,210世帯増加し、999,835世帯となった。

賃金・労働時間・雇用



賃金・労働時間・雇用（12年6月）

1. 平均賃金の推移

6月の現金給与総額は、調査産業計で、520,641円、対前年同月比2.0%増であった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は273,041円、対前年同月比0.5%減であった。特別に支払われた給与は247,600円であった。

2. 労働時間

6月の総実労働時間は、調査産業計で、162.7時間、対前年同月比1.0%増であった。総実労働時間のうち、所定内労働時間は153.1時間、対前年同月比1.5%増であった。所定外労働時間は9.6時間、対前年同月比5.9%減であった。

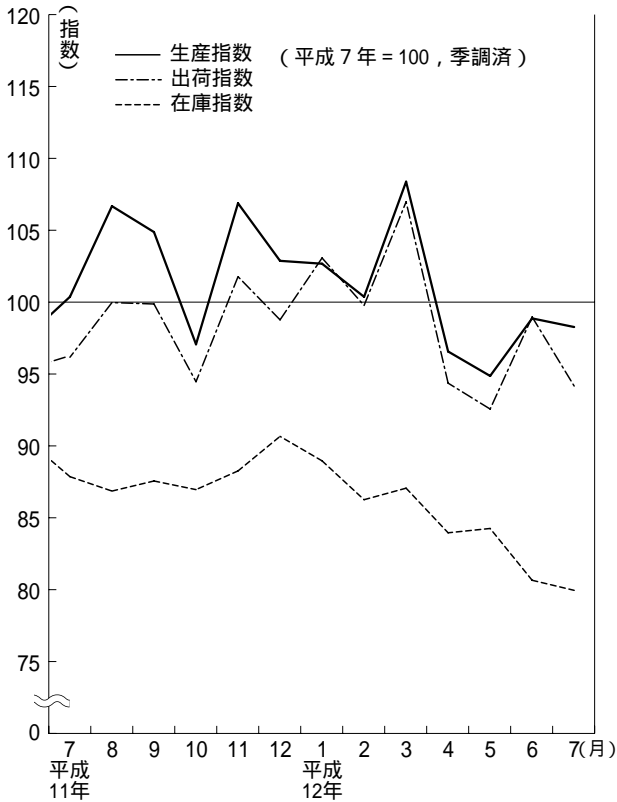
3. 雇用の動き

6月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.3%減であった。

この地方調査の結果は事業所規模5人以上です。

なお、事業所規模30人以上の結果についての問い合わせにも応じます。

鉱工業指数 生産・出荷・在庫

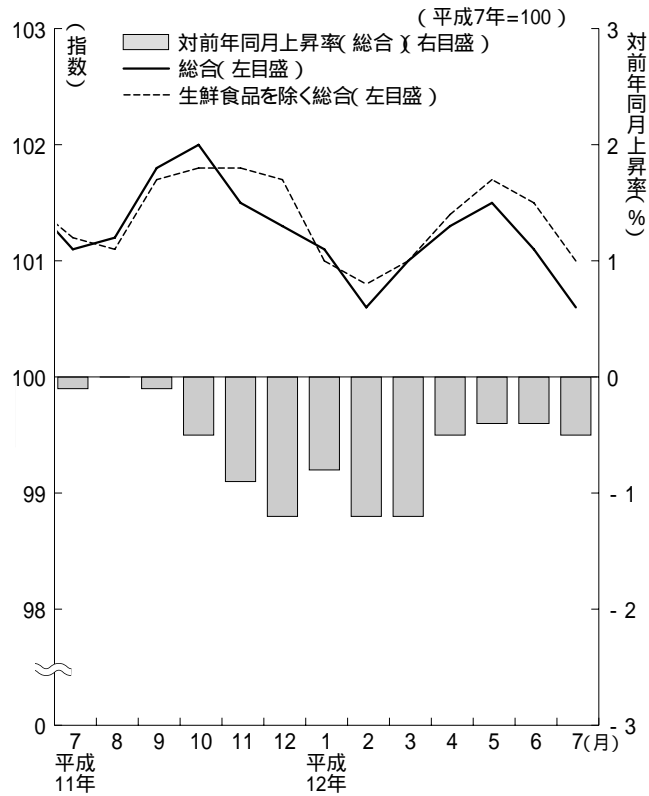


鉱工業指数 生産・出荷・在庫 (12年7月)

本県における平成12年7月の“鉱工業指数”(平成7年=100)は、季節調整済指数で生産が98.2, 出荷が94.1, 在庫が79.9であった。

- 1 生産の前月比は 0.6%の低下, 前年同月比は 2.2%の低下であった。業種別に前月比をみると, 石油・石炭製品工業, 一般機械工業, その他工業等が上昇し, 精密機械工業, 繊維工業, 電気機械工業等が低下した。財別にみると, 鉱工業用生産財が上昇し, 非耐久消費財, 耐久消費財等が低下した。
- 2 出荷の前月比は 4.9%の低下, 前年同月比は 2.1%の低下であった。業種別に前月比をみると, 金属製品工業, パルプ・紙・紙加工品工業, 鉱業等が上昇し, プラスチック製品工業, 精密機械工業, 鉄鋼業等が低下した。財別にみると, 耐久消費財, 非耐久消費財等が低下した。
- 3 在庫の前月比は 0.9%の低下, 前年同月比は 9.0%の低下であった。業種別に前月比をみると, 石油・石炭製品工業, 輸送機械工業, その他工業等が上昇し, プラスチック製品工業, 食料品・たばこ工業, 金属製品工業等が低下した。財別にみると, その他用生産財, 耐久消費財等が上昇し, 非耐久消費財, 建設財等が低下した。

消費者物価指数



消費者物価指数 (12年7月)

平成12年7月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で100.6(平成7年=100)となり, 対前月比は(-)0.5%下落し, 対前年同月比も(-)0.5%の下落となった。

今月の上がった主な項目...電気・ガス代0.8%

交通0.5%

今月の下がった主な項目...洋服(-)5.6%

シャツ・セーター類(-)8.3%

生鮮食品を除く総合は101.0となり, 対前月比は(-)0.5%下落し, 対前年同月比も(-)0.2%の下落となった。

費目別指数

(平成7年=100)

区分	指数	上昇率(%)		区分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総合	100.6	0.5	0.5	保健医療	111.5	0.0	0.8
食料	99.7	0.6	2.3	交通通信	97.7	0.3	0.7
住居	102.3	0.1	1.1	教育	109.1	0.0	0.7
光熱・水道	102.8	0.6	2.0	教養娯楽	97.8	0.3	0.5
家具・家事用品	94.1	0.0	2.3	諸雑費	102.4	0.1	0.1
被服及び履物	100.7	4.3	1.8	生鮮食品を除く総合	101.0	0.5	0.2